

商品の麺担保に融資

狩野ジャパン 三井住友銀と契約

製麺業卓内大手の狩野ジャパン（大村市、狩野喜治社長）は、主力商品の皿うどん麺やちゃんぽん麺などを担保とした動産担保融資「ABL」（アセット・ベリスト・レンディング）契約を三井住友銀行と結んだ。融資枠は8千万円。

ABLは、企業の商品在庫や売掛金、設備などを担保にした融資。不動産に頼らない資金調達手段として普及が進んでいる。家畜やコメ、冷凍水産物なども担保対象。同社は皿うどん麺やちゃんぽん麺、パスタ麺などを1日に約40万食分製造し、



地域活性化について意見を交わす県＝佐

「YOSAKOIさせば祭り」を一大イベントに成長させた竹本氏は「目的は町を元気にすること。一人ではできなかった」と述べ、市民が積極的に動く重要性を強調。「長崎ランタンフェスティバル」仕掛け人の林氏は、市職員のボランティアでの支援などに触れ

関東、関西を中心に全国で販売。コンビニ大手のセブンイレブンや生協などに納入している。農林水産関係のABL普及を促進している農水省金融調整課によると、皿うどん麺の担保事例は聞いたことがなく、珍しいという。

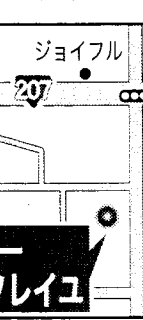
狩野社長は「融資を活用することで、小麦や原油など原材料の価格変動に影響されにくくなる」と話している。（嶋田嘉子）

寄って みんな!



パティスリー スイートソレイユ店長 橋本 大量さん(36)

2008年オープン。鹿児島と大阪のケーキ屋で計約13年間修業し独立。店名の「ソレイユ」は、フランス語で「太陽」を意味する。



のように温かく、明るい店になりますようにとの願いを込めています。

ケーキは素材の味を生かして、甘すぎずさっぱりして

「ソレイユ」は、フランス語で「太陽」を意味する。

情報BOX

専用だしの販売開始

練り製品のうまみ生かす

長崎産練り製品の販路拡大に向け、長崎市内のかまぼこ業者などが開発した「長崎おでん」のだしの販売が1日、同市内のかまぼこ店で始まった。月内に県内のスーパーや土産物店で

売り出す予定で、順次全国の小売店に拡大する。

だしは、長崎特産の焼きあごがベースで、カタクチイワシや昆布を使い、練り製品のうまみを生かすよう、やや薄味なのが特徴。



店頭に並ぶ「長崎おでん」のだし＝長崎市幸町、杉永清鋒



G1九州選手権

大村ポートルース場（大村ポートルース場）がPR

「ぜひ会場楽しんでほしい」と、同グループの杉永清悟店長は「長崎のかまぼこを全

経済かわの版

福祉法人新会計基準セミナー 税理士アパートナーズグループ（内田延佳代）が午後2時～4時、長崎市茂里町の県センターで開く。社会福祉法人の新会計基本や主な改正点などを学ぶ。受講料無料（資料代込み）。同グループの内田会計セミナー事務局（095・861・0210）

ケーキ「長崎ロール」(900円)を600円で0円以上購入した人にはデコレーション0%割引券を贈る。2日は午前10時に菓子600円以上を購入した先着300人目当の焼き菓子をプレゼント。ポイントも新たに始め、会員にはお得な情報提供がある。同店（095・822・0346）